

移動系通信に関する新たな料金施策の 競争環境への影響に関する分析

平成27年4月10日

総務省 総合通信基盤局
電気通信事業部 事業政策課

- 1 携帯電話各社の新料金プランについて . . . P.2
- 2 新料金プラン等に関する利用者アンケートの結果 . . . P.5
- 3 国際ローミングについて . . . P.12

1 携帯電話各社の新料金プランについて

携帯電話各社の新料金プラン(スマートフォンの場合)について

- 2014年6月以降、携帯電話事業者(MNO)各社は、データ通信に係る料金プランの多様化と通話定額制等を内容とする**新料金プラン**を相次いで導入。

会社名	NTTドコモ	KDDI (au)	ソフトバンク モバイル	ワイモバイル
基本料 (国内通話のかけ 放題を含む)	カケホーダイプラン (2年契約)	電話カケ放題プラン (2年契約)	通話し放題プラン (2年契約)	スマホプランS/M/L (2年契約)
	2,700円	2,700円	2,700円	S(1GB):2,980円 M(3GB):3,980円 L(7GB):5,980円
ネット 接続料	spモード 300円	LTE NET 300円	SIベーシックパック 300円	基本料に含む
データ通信料金	2GB	3,500円	3,500円	基本料に含む
	3GB	—	4,200円	
	5GB	5,000円	5,000円	
	8GB	6,700円	6,700円	
	10GB	9,500円 ※	8,000円	
	13GB	—	9,800円	
	15GB	12,500円 ※	—	
	20GB	16,000円 ※	—	
30GB	22,500円 ※	—	22,500円 ※	
合計	6,500円～25,500円	6,500円～12,800円	6,500円～25,500円	2,980円～5,980円
備考	<ul style="list-style-type: none"> ※10GB以上は家族間でデータ容量をシェアすることが可能。 ・2014年6月1日提供開始。 ・同年10月から未使用の容量を翌月に繰り越し可能。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3GB、13GBのプランも提供。 ・家族間において、データ通信量を0.5GB単位で融通可能。 ・2014年8月13日提供開始。 	<ul style="list-style-type: none"> ※10GB以上は家族間でデータ容量をシェアすることが可能。 ・未使用の容量を翌月に繰り越し可能。 ・2014年7月1日提供開始。 ・同年8月1日から、10GBプランの定額料が9,500円から8,000円に変更。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他社携帯電話・PHS・固定電話(IP電話含む)への1回当たり10分以内の国内通話が月300回まで可能。 ・2014年8月1日提供開始。

新料金プランの位置付け

NTTドコモ

2014年6月1日から、新料金プラン及び「シェアパック」の提供開始。
「タイプXi にねん」等の旧料金プランは、2014年8月31日をもって新規受付終了。

また、旧料金プランを維持したまま機種変更した場合、月々サポートの割引適用外となる。

KDDI

2014年8月13日から新料金プラン、同年12月18日から「データギフト」の提供開始。
「LTEプラン」等の旧料金プランは、引き続き受付。

ソフトバンクモバイル

2014年7月1日から新料金プラン、同年8月1日から「家族データシェア」の提供開始。

「ホワイトプラン」等の旧料金プランの新規受付については、

①2014年8月末終了予定



②同年11月末終了予定



③12月1日以降も受付延長と変更。

新料金プランに関連する契約数・財務等の状況

NTTドコモ

2014年10月14日：1,000万突破

2014年12月31日：1,354万契約

2015年 2月 6日：1,500万突破

○2014年度第2四半期(9月末)決算では、新料金プランの影響により、

・ARPU: 前年同期比▲110円

・営業利益: 2014年度の業績予想の当初予想比▲1,200億円

○2014年度第3四半期(12月末)決算では、新料金プランの収支影響は底打ちし改善トレンドへ

改善要因:

・Mパック以上選択率が50%超(10月～)

・ポテンシャル層比率約半数に拡大(12月)

・移行後の請求単金はプラスに(12月)

※Mパック以上選択率は、データパック選択数に占めるデータMパック(5GB)及びLパック(8GB)の選択率

※ポテンシャル層：新料金プラン移行後に使用が増える利用者

KDDI

<2014年度第2四半期(9月末)決算>

データ定額選択の内訳 5GB以上:44%、2GB・3GB:56%

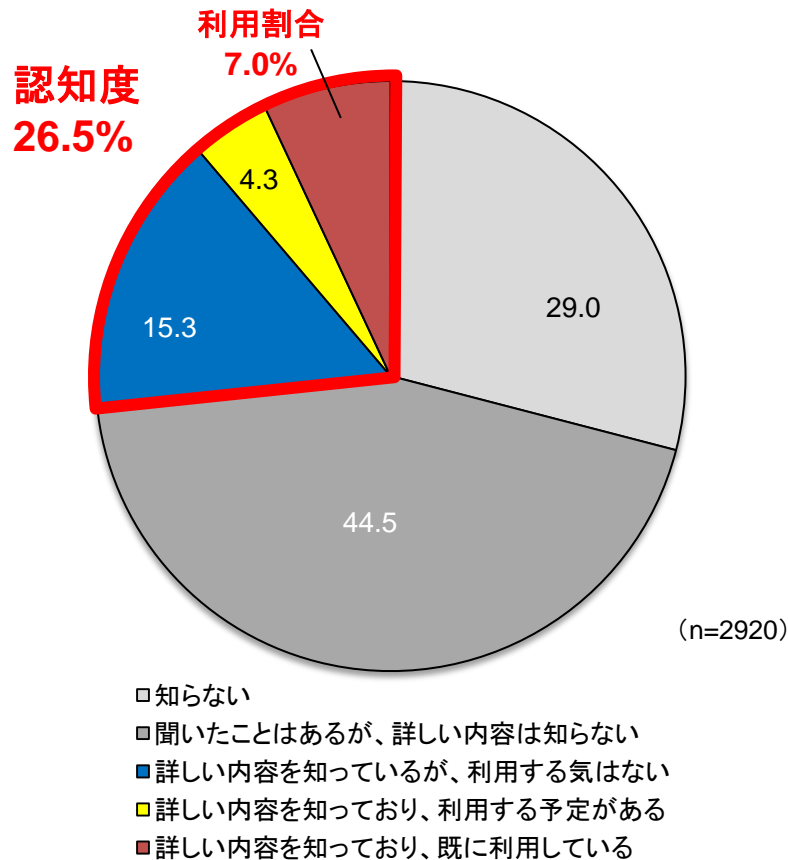
<2014年度第3四半期(12月末)決算>

音声ARPUは、前年同期から110円減少の1,840円となった。主な減少要因の1つとして、新料金プランへの移行を挙げている。

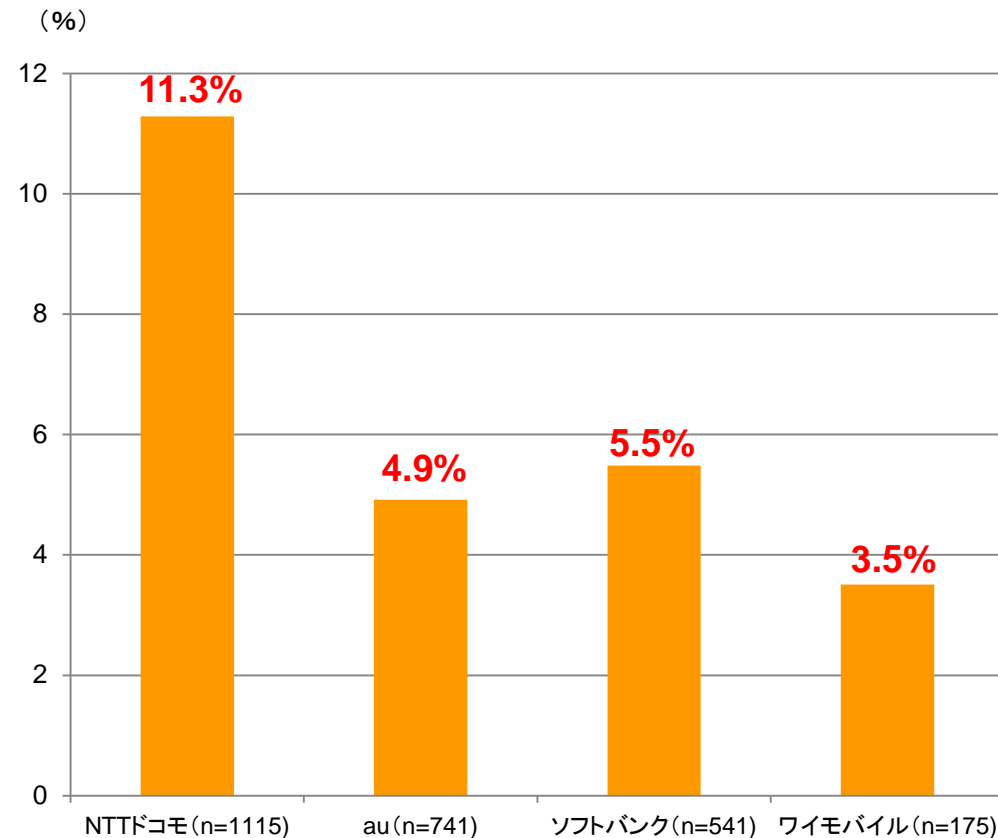
2 新料金プラン等に関する利用者アンケートの結果

- **新料金プランの認知度は26.5%であり、利用者の割合は全体の7.0%であった。**
- **各社別の新料金プランの利用割合について、NTTドコモは11.3%、KDDIは4.9%、ソフトバンクモバイルは5.5%、ワイモバイルは3.5%であった。**

新料金プランの認知度・利用割合



各社別の新料金プラン利用割合

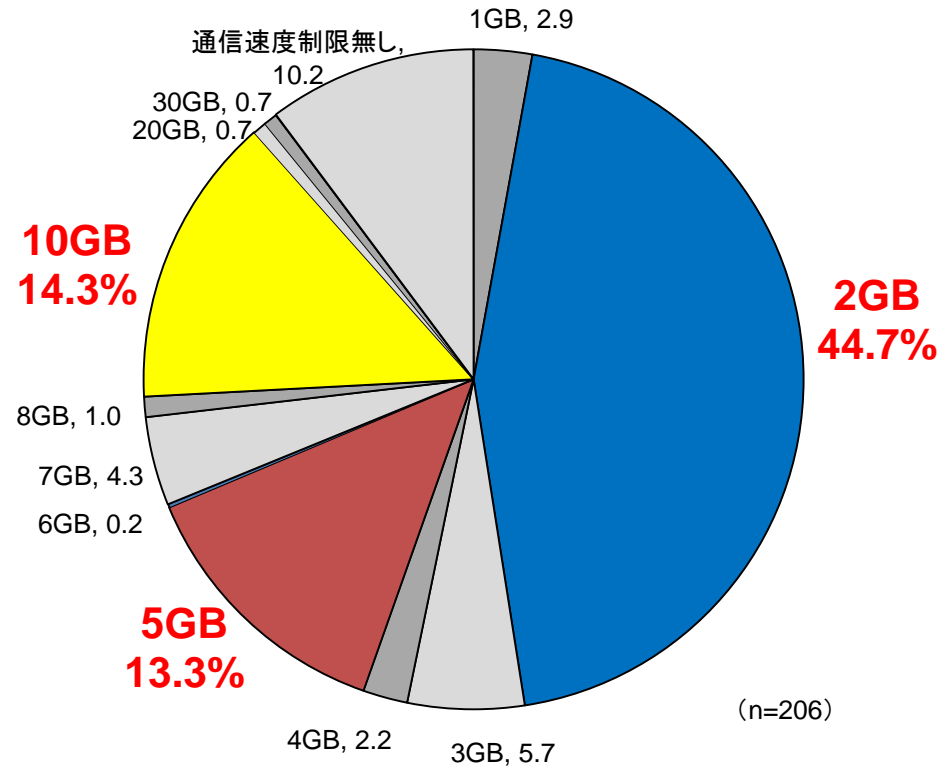


回答者ベース：固定及び移動体通信利用者+移動体通信のみの利用者

出所：競争評価2014利用者アンケート

- データ通信のプラン別の契約割合について、2GB上限が44.7%、10GB上限が14.3%、5GB上限が13.3%となっている。

データ通信のプラン別の契約割合



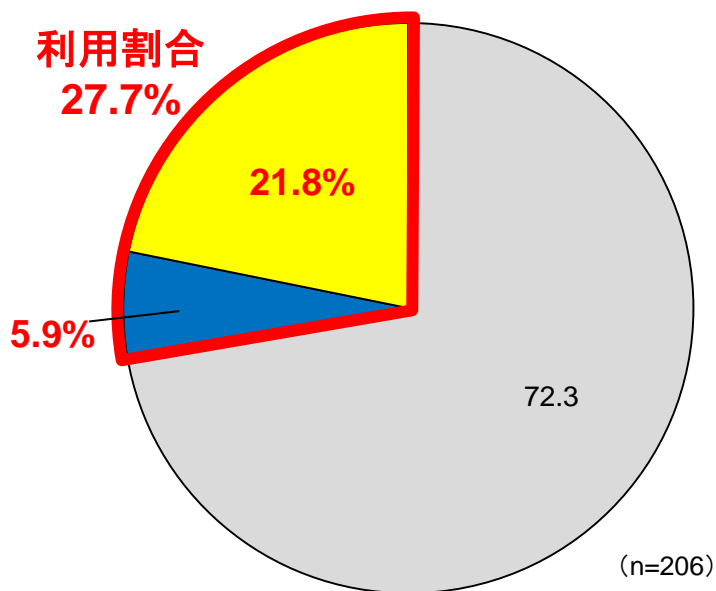
回答者ベース：固定及び移動体通信利用者＋移動体通信のみの利用者のうち新料金プラン利用者

出所：競争評価2014利用者アンケート

● データシェアプラン※の利用者の割合は27.7%であり、そのうち複数回線を一人でシェアしている者が5.9%、二人以上でシェアしている者が21.8%であった。

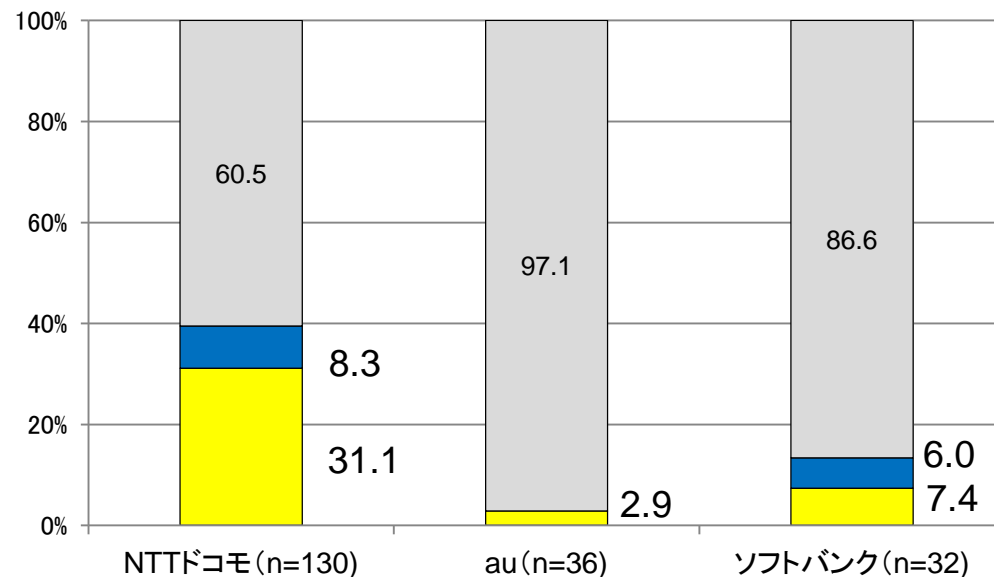
※NTTドコモ：シェアパック、KDDI：データギフト
ソフトバンクモバイル：家族データシェア、ワイモバイル：シェアプラン

データシェアプランの利用割合



- データシェアは利用していない
- 一人で利用している/複数回線でシェアしている
- 二人以上でシェアしている

各社別のデータシェアプランの利用割合



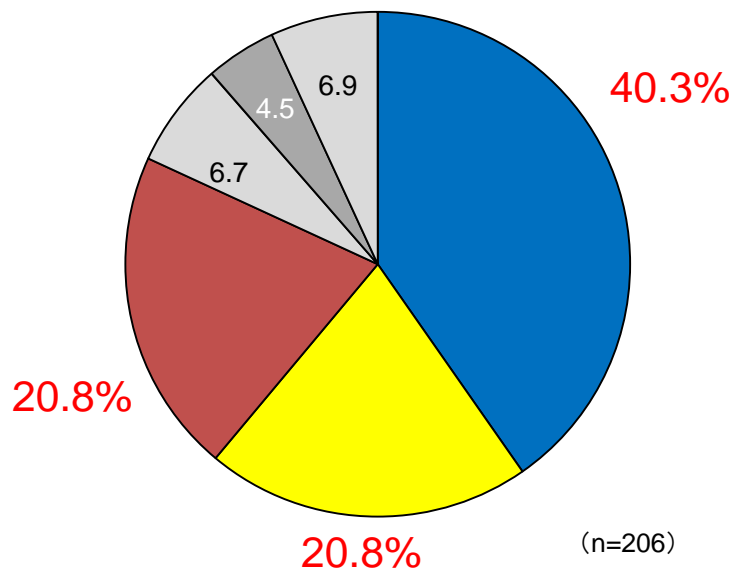
- データシェアは利用していない
- 一人で利用している/複数回線でシェアしている
- 二人以上でシェアしている

回答者ベース：固定及び移動体通信利用者+移動体通信のみの利用者のうち新料金プラン利用者

出所：競争評価2014利用者アンケート

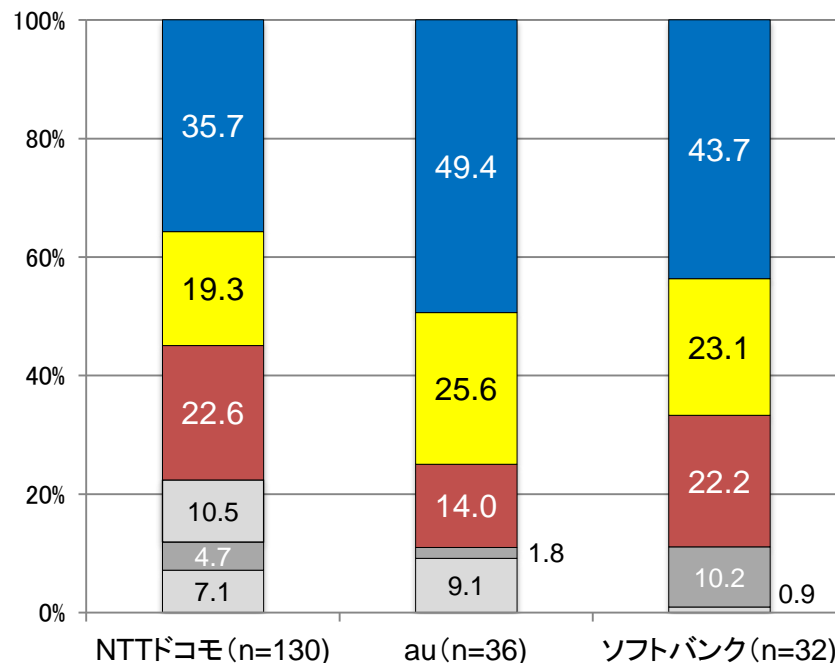
● 新料金プランの選択理由として、「音声通話定額を利用したいから」が40.3%、「前のプランよりも値段が安くなるから」が20.8%、「新料金プランしか選べなかったから」が20.8%であった。

新料金プランの選択理由



- 音声通話定額を利用したいから
- 前のプランよりも値段が安くなるから
- 新料金プランしか選べなかったから
- 家族間でデータ容量をまとめたり贈りあうことができるから
- データ通信量の上限を複数から選択することができるから
- その他

各社別の新料金プランの選択理由



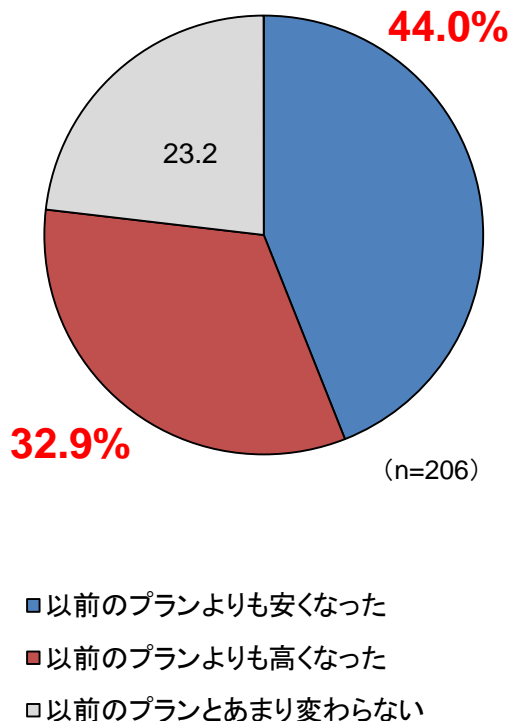
- 音声通話定額を利用したいから
- 前のプランよりも値段が安くなるから
- 新料金プランしか選べなかったから
- 家族間でデータ容量をまとめたり贈りあうことができるから
- データ通信量の上限を複数から選択することができるから
- その他

回答者ベース：固定及び移動体通信利用者+移動体通信のみの利用者のうち新料金プラン利用者

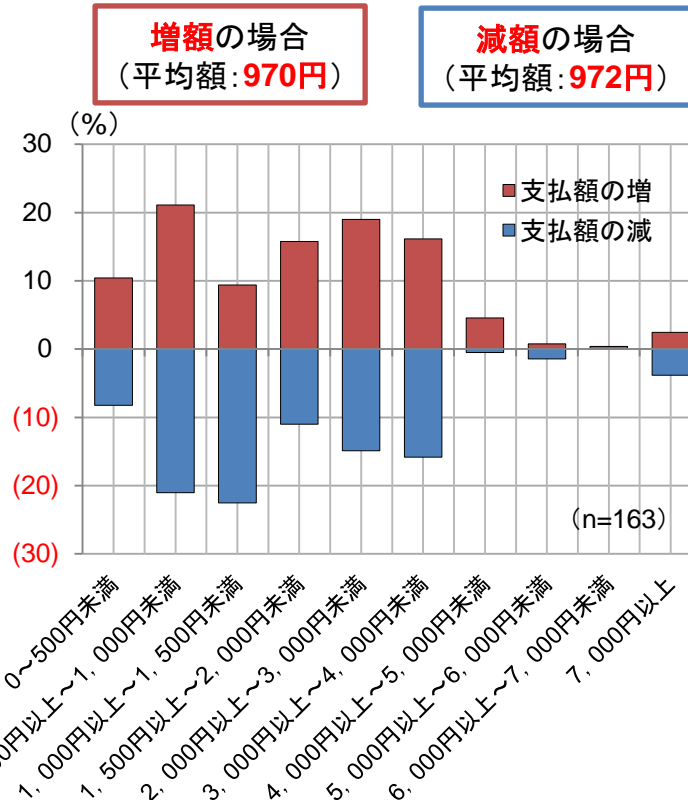
出所：競争評価2014利用者アンケート

- **新料金プラン後の支払金額の増減状況**として、「以前のプランよりも安くなった」と答えた者が**44.0%**であり、「以前のプランよりも高くなった」と答えた者が**32.9%**であった。
- **新料金プラン後の支払金額の増減額**として、**増額の平均は970円、減額の平均は972円**であった。
- **データシェア利用後の支払金額の変化**として、**家族全体で下がった**と答えた者が**64.7%**であり、そのうち、**利用者個別・家族全体ともに下がった**と答えた者が**38.7%**であった。

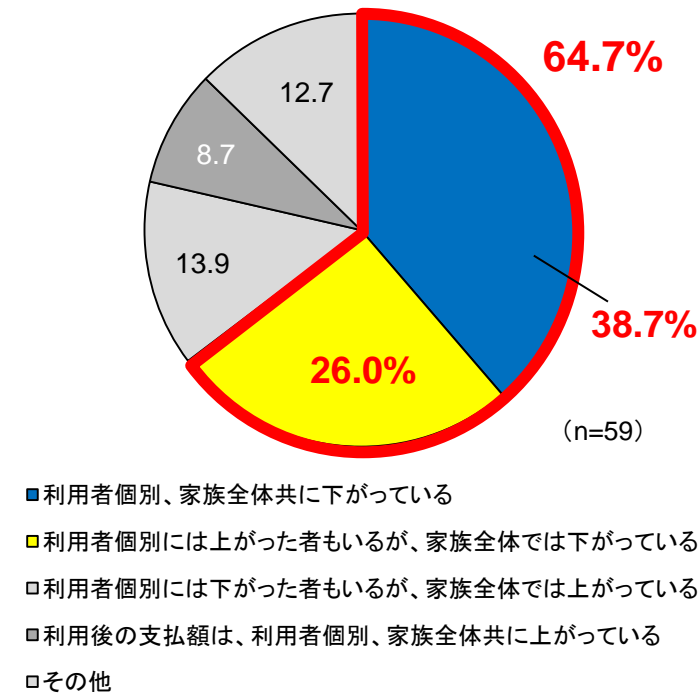
新料金プラン後の支払金額の増減状況



新料金プラン後の支払金額の増減額



データシェア利用後の支払金額の変化



回答者ベース：固定及び移動体通信利用者+移動体通信のみの利用者のうちデータシェアプラン利用者

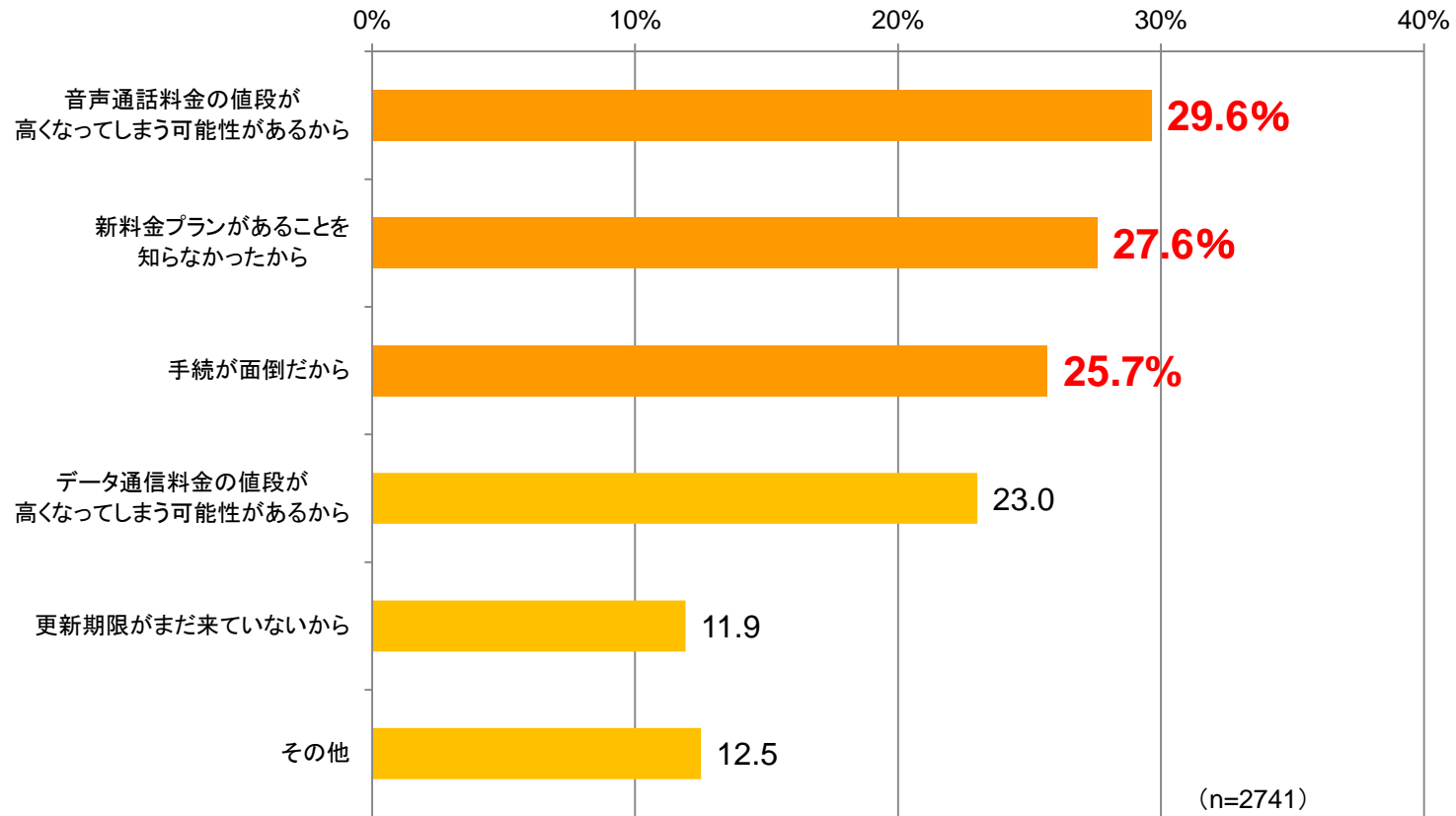
回答者ベース：固定及び移動体通信利用者+移動体通信のみの利用者のうち新料金プラン利用者

回答者ベース：固定及び移動体通信利用者+移動体通信のみの利用者のうち新料金プラン利用者

出所：競争評価2014利用者アンケート

- 旧料金プランの利用理由として、「音声通話料金の値段が高くなってしまいう可能性があるから」と答えた者が29.6%、「新料金プランがあることを知らなかったから」と答えた者が27.6%、「手続きが面倒だから」と答えた者が25.7%であった。

旧料金プランの利用理由



回答者ベース：固定及び移動体通信利用者＋移動体通信のみの利用者のうち新料金プラン非利用者

出所：競争評価2014利用者アンケート

3 国際ローミングについて

- ソフトバンクモバイルの「アメリカ放題」は、利用者がアメリカ本土やハワイなどに滞在している際、スプリントのネットワークでの通話やSMS、データ通信に**日本国内の料金を適用**するオプションサービス。
- 「スマ放題」5GB以上のプランの場合、**申込み不要・サービス利用料無料**。
「スマ放題」2GBや「スマ放題」以外のプランの場合、**申込みが必要**でサービス利用料は**月額980円**。

利用可能エリア

アメリカ本土、ハワイ、プエルトリコ、バージン諸島(アメリカ領)
のスプリントネットワーク

※アラスカ州・モンタナ州・グアム・サイパンなど一部地域を除く

対応機種

3機種 (iPhone 6、iPhone 6 Plus、iPad Air 2)

【アメリカ滞在中】発信した場合

スプリントネットワークからのアメリカ国内・日本宛の発信が無料。

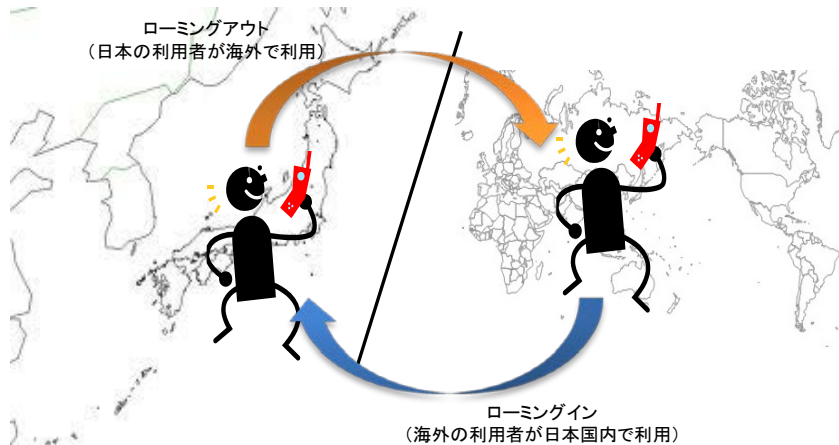
【アメリカ滞在中】着信した場合

スプリントネットワークでの着信が無料。

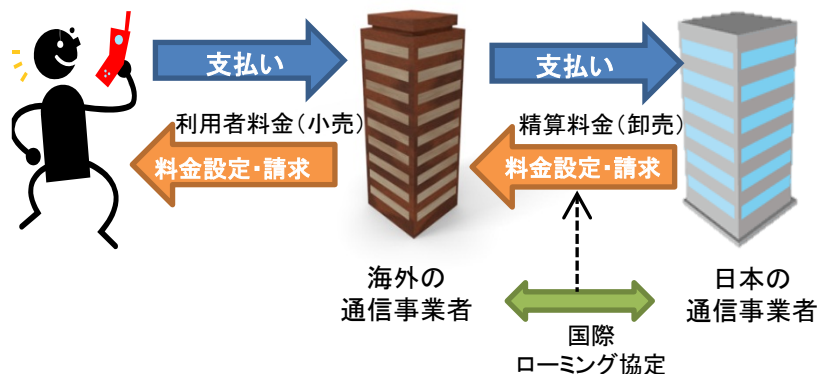


国際ローミングとは

国内で使用している端末・電話番号のまま、海外で通信サービスを利用できるようにするもの。



《ローミングインでの精算の流れ》



各社の国際ローミング料金 (米国でAT&Tのネットワークを活用する場合)

NTTドコモ

米国内通話料: 125円
 日本への通話料: 140円
 その他の国への通話料: 265円
 着信料: 175円
 SMS: 100円
 データ通信: 980円

KDDI

米国内通話料: 120円
 日本への通話料: 140円
 その他の国への通話料: 210円
 着信料: 165円
 SMS: 100円
 データ通信: 1,980円

ソフトバンクモバイル

米国内通話料: 125円
 日本への通話料: 140円
 その他の国への通話料: 210円
 着信料: 175円
 SMS: 100円
 データ通信: 1,980円

ワイモバイル

米国内通話料: 100円
 日本への通話料: 150円
 その他の国への通話料: 200円
 着信料: 100円
 SMS: 100円
 データ通信: 1,480円

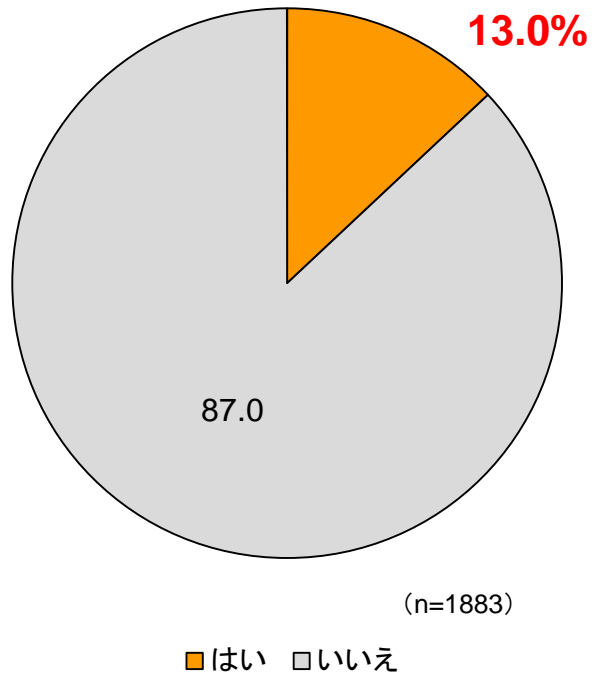
注: 各社の国際ローミング料金は、2015年3月31日現在。
 通話料、着信料は1分当たりの金額。
 SMS料金は1通当たりの金額。

データ通信料金は1日当たりの金額。各社の提供条件は以下のとおり。

- ・NTTドコモ: 30MBまで利用可能 (30MBを超過すると通信速度を最大16kbpsに制限。)
- ・KDDI: 24.4MBまで利用可能 (24.4MBを超過すると従量課金。なお、上限額は2,980円。)
- ・ソフトバンクモバイル: 25MBまで利用可能 (25MBを超過すると従量課金。なお、上限額は2,980円。)
- ・ワイモバイル: 15MBまで利用可能 (15MBを超過すると従量課金。なお、上限額は2,880円。)

● 国際ローミングの利用経験がある者は13.0%であり、国際ローミングの利用における不満として「料金が高い」が72.2%であった。

国際ローミングの利用経験の有無



国際ローミングの利用における不満

